

受付番号

2024-29

許可番号

大歯医倫 第 111360 号

研究課題名

フリースクールに通う児童生徒の口腔健康状態に関する疫学研究

研究責任者

河村 佳穂里

申請者

河村 佳穂里

研究終了日

2027年3月31日

所属

口腔衛生学講座

所属

口腔衛生学講座

職名

講師

職名

講師

申請の概要

近年我が国は少子化の状況下にあるにもかかわらず、小中学校における不登校児童生徒数は10年連続で増加傾向にある。特にコロナ禍にあった令和2年度以降急増し、令和4年度では小中学生併せて過去最多の299,048人が不登校であった。高等学校でも同様に令和2年度以降、不登校生徒は増加傾向に転じている。

不登校の状態にある子どもたちは、食事、運動、睡眠など生活習慣の乱れに起因する体力低下による易疲労、肥満といった問題や、セルフケアの低下、間食の増加による齲蝕の増加が見られることが報告されている。口腔健康状態は特に生活習慣を反映しやすい部分であり、歯磨き習慣が不登校のサインとなる可能性があるとも言われており、これを歯科健診等で発見することができれば、不登校の問題に対して、歯科からの早期発見も可能となる。

しかし、不登校児童生徒の積極的な歯科受診機会は少なく、学校に行きにくかった経験のある者の口腔健康状態に関連するまとまったデータは存在していないのが現状である。

本研究の目的は、不登校経験のあるフリースクールの児童生徒の口腔健康状態を明らかにし、不登校児童生徒の歯科的問題点を抽出することである。本研究によって、不登校の問題に対する歯科的アプローチの必要性の検証が可能になるものと期待される。